

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 1日

事業所名 こどもプラス豊見城教室4号館

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	0	庭での運動遊びや、室内での手指訓練などを行っています。	死角になる場所には入らないよう声掛けを行ったり、衝立を設置するなどの工夫をして対応しています。
	2 職員の配置数は適切である	3	2	4		基準は満たしているが、送迎等で手薄になる場合もあり、工夫しながら対応しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	3	4		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4	0	朝礼や終礼の際に職員間で情報共有を行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	毎年自己評価を行っています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	0		自己評価の結果はホームページにて公表しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	0		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	1	定期的に動画研修を行っています。	パート職員は研修に参加していないので、情報共有の時間を設ける。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	0	個別支援会議を行い、職員からの意見を聞きながら作成しています。	モニタリングや担当者会議で保護者からも意向を確認し、計画書に反映できるようにしています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	0	運動遊びや行事などは職員で話し合い立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	0	園外活動を取り入れる等、固定化しないようにしている。	運動遊びでは、児童に合わせて難易度を変えながら対応しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	0	長期休暇では外出などを計画し、集団活動やSSTなど行っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	朝礼にて打ち合わせを行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	0		送迎やシフトの関係で職員が揃わないことがあるので、翌日の朝礼で情報共有を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	記録はその日で記入するようにしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	定期的にモニタリングを実施し、情報共有を行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	5	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7	0	0	児童発達支援管理責 任者、もしくは関りの ある職員が参加して います。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5	2	0		各学校の時間割を確認したり、必要に応じて担任の先 生や学校に連絡し確認しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	6	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	2	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	0	6	1		対象児童がいる場合は、会議などに参加し関係機関と の情報共有を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	0	5	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	4		コロナ禍の影響で控えていたが、今後の様子を見なが ら検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	1	4	地域のかざぐるま連 絡会に参加していま す。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6	1	0	送迎の際に、その日 の申し送りをしていま す。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	0	5	2	研修を受けた職員を 中心にペアレントト レーニングの技法を 取り入れています。	モニタリングや送迎の際に、保護者から子ども達のこ とを褒めてもらえるよう、活動中の良かったことや頑張 ったこと等を積極的にお伝えするようにします。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5	2	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6	1	0	送迎時に保護者から 相談があった場合に 対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	0	1	6		コロナの影響で実施していませんでしたが、実施につ いて検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6	1	0		ご意見があった際には迅速な対応に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6	1	0	毎月お便りを発行し たり、ブログにて活動 内容を掲載していま す。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	0	5	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常 時等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	6	0	マニュアルは作成し保管している。	職員で共有する時間を設け確認を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	年に2回避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	7	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	1	アレルギーを持っている児童が利用する際は保護者に確認を行います。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	ヒヤリハットがあった際には記録しています。	ヒヤリハットの内容を職員間で共有し改善に努めます。